

## 泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 思春期を迎えた尿道下裂症例の陰茎長に影響する因子の検討

[研究機関] 北海道大学病院泌尿器科

[研究責任者] 守屋 仁彦（泌尿器科・講師）

[研究の目的] 尿道下裂術後の思春期以降の陰茎長に影響を与える要因について検討することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成3年4月1日から平成15年4月1日の間に当院で尿道下裂術を受けた患者さんで現在も当院泌尿器科に通院している方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢（手術時・評価時）、身体所見（出生時体重、評価時身長）、尿道下裂の分類、血液検査結果、陰茎長、合併症について

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院泌尿器科

電話 011-716-1161

担当医師 守屋 仁彦

FAX 011-706-7853